

WHO ファクトシート

チクングンヤ熱

Chikungunya

2017年4月

重要な事実

- ・チクングンヤ熱は、感染した蚊によってヒトに伝播するウィルス性疾患である。発熱と重度の関節痛を引き起こし、その他の症状としては、筋肉痛、頭痛、吐き気、疲労、発疹がある。
- ・関節痛は、しばしば身体を衰弱させ、持続時間は変化することがある。
- ・この疾病は、デング熱やジカ熱といくつかの臨床徴候を共有しており、両疾病が流行っている地域では誤診される可能性がある。
- ・この疾病の根治療法はない。治療は、症状の緩和に焦点を当てている。
- ・人間の居住地に蚊の繁殖場所が近いことが、チクングンヤ熱感染の重大な危険因子である。
- ・この疾病は、主にアフリカ、アジア及びインド亜大陸で発生している。しかしながら、2015年の主要な流行はアメリカ地域の数カ国で起こった。

本件ファクトシートについては厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)でも全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい。

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Chikungunya ファクトシート原文は [こちら](#)